

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター
宮崎県健康増進課
宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第 45 週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 738 人（定点あたり 22.4）で、前週比 106%と増加した。

先週に比べ多かった主な疾患はインフルエンザ、流行性耳下腺炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

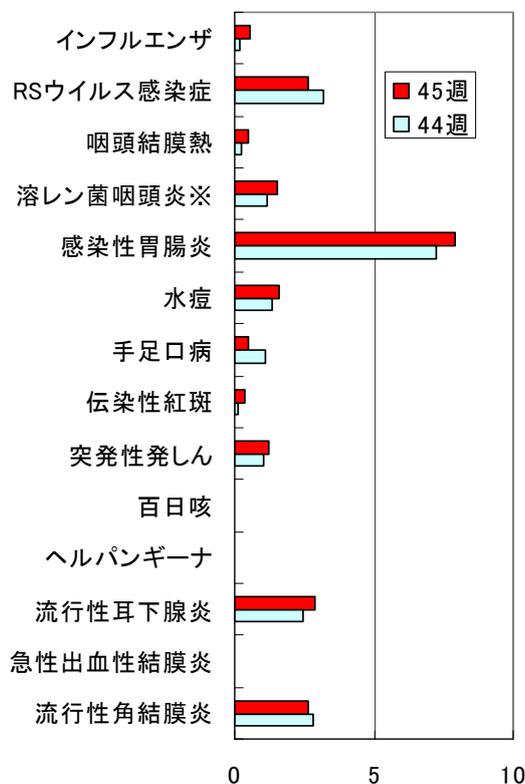
インフルエンザの報告数は 31 人（0.53）で前週比 282%と増加した。日向（3.5）保健所からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 58%、6-9 歳が 26%、10-14 歳が 13%、20-50 歳が 3%を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 104 人（2.9）で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値

（1.1）の約 2.5 倍である。延岡（9.3）、日南（6.7）保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では 2 歳から 5 歳で全体の約 7 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 55 人（1.5）で前週比 128%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（1.5）とほぼ同数である。延岡（3.0）、日南・日向（2.3）保健所からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 7 歳で全体の約 7 割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
流行性耳下腺炎	6	2.9	延岡(9.3)、日南(6.7)	2歳～5歳で全体の約7割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核3例が宮崎市（2例）、高鍋（1例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・80歳代の女性で肺結核。不明熱がみられた。
 ・70歳代の男性で疑似症患者。
 《高鍋保健所》・60歳代の女性で疑似症患者。咳、痰、発熱、胸痛がみられた。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例が宮崎市保健所から報告された。8歳の男児で無症状病原体保有者。原因菌の血清型は0157（VT2産生）。
- 4 類感染症：つつが虫病2例が都城・小林（各1例）保健所から報告された。
 《都城保健所》・80歳代の女性で発熱、刺し口がみられた。
 《小林保健所》・70歳代の男性で発熱、刺し口がみられた。
- 5 類感染症：報告なし。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

ウイルス（平成22年11月8日～平成22年11月14日までに検体採取分）

検出ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	検出日
インフルエンザAH1pdm型	10	女	11.13	インフルエンザ、38.2℃	鼻腔*	11.16
インフルエンザAH3型	14	男	11.9	インフルエンザ、39.1℃、咳、鼻水、咽頭痛、筋肉痛、腹痛	鼻腔*	11.16
インフルエンザAH3型	4	女	11.8	インフルエンザ、39℃、咳、痰、鼻水	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	8	男	11.8	インフルエンザ、39.4℃、咳、痰、鼻水、頭痛、嘔吐	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	5	男	11.10	インフルエンザ、38.8℃、咳、頭痛	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	6	男	11.10	インフルエンザ、38.9℃、咳、痰、鼻水、頭痛	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	4	女	11.10	インフルエンザ、39.3℃、咳、嘔吐	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	4	男	11.11	インフルエンザ、38.0℃、鼻水	鼻腔*	11.16
インフルエンザAH3型	6	女	11.12	インフルエンザ、39℃、咳、鼻水	鼻腔*	11.16
インフルエンザAH3型	1	女	11.12	インフルエンザ、37.8℃、咳、痰、鼻水	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	6	男	11.12	インフルエンザ、39.2℃、咳、鼻水	鼻汁	11.16
インフルエンザAH3型	8	男	11.13	インフルエンザ、39.3℃、咳、鼻水、筋肉痛、結膜充血	鼻腔*	11.16
インフルエンザAH3型	12	女	11.13	インフルエンザ、39.7℃、咳、咽頭痛、頭痛、全身倦怠感	咽頭*	11.16

鼻腔*：鼻腔ぬぐい液 咽頭*：咽頭ぬぐい液

○日向保健所、延岡保健所、高鍋保健所、都城保健所管内でインフルエンザA型の報告があった。日向の10例、延岡の2例、高鍋の1例、都城の1例について遺伝子検査を実施した結果、日向の10例、延岡の1例、高鍋の1例からインフルエンザAH3(A香港型)が検出され、都城の1例からインフルエンザAH1pdm型(新型)が検出された。

■ 全国第 44 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 12.0 で、前週比 111%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 942 人 (0.2) で、前週比 133%と増加した。北海道 (1.5)、徳島県 (0.87)、沖縄県 (0.6) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 39%、6 歳から 9 歳が 22%、10 歳から 14 歳が 11%、15 歳から 19 歳が 3%、20 歳代から 50 歳代が 20%、60 歳以上が 5%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 16,111 人 (5.3) で、前週比 118%と増加した。例年同時期の約 1.2 倍である。山形県 (19.8)、大分県 (19.1)、新潟県 (11.5) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約半数を占めた。

□全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 258 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 29 例、腸チフス 1 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : A型肝炎 3 例、回帰熱 1 例、つつが虫病 3 例、デング熱 2 例、日本紅斑熱 1 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 11 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、クリプトスポリジウム症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、後天性免疫不全症候群 15 例、梅毒 6 例、破傷風 1 例、麻しん 1 例

■月報告対象疾患の発生動向 <10月>

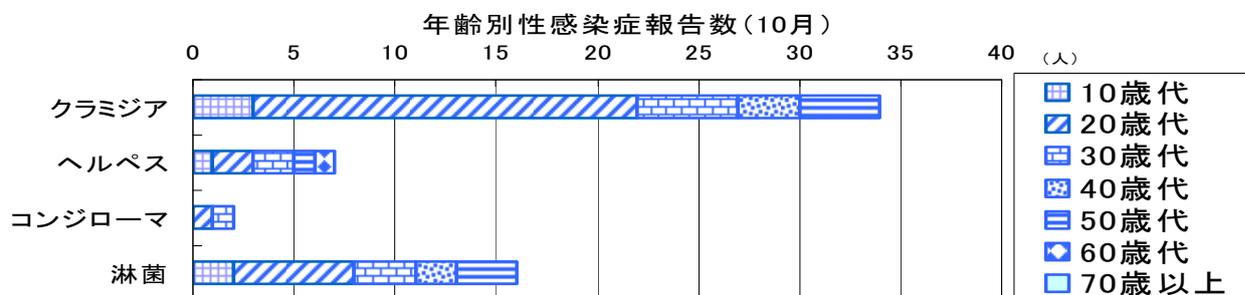
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は59人（4.5）で、前月比109%と増加した。昨年10月（4.2）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数34人（2.6）で、前月の約1.1倍、前年とほぼ同数であった。都城（7.0）、宮崎市（3.8）保健所からの報告が多く、男性24人、女性10人で、20歳代が全体の約6割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約3.5倍、前年の約1.4倍であった。男性3人、女性4人で、20歳代と30歳代が全体の約6割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月・前年の約2倍であった。30歳代の男性と20歳代の女性であった。
- 淋菌感染症：報告数16人（1.2）で、前月の約8割、前年の約1.1倍であった。男性15人、女性1人で、20歳代が全体の約4割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：967

定点医療機関からの報告総数は4,471人（4.6）で、前月比101%であった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,381人（2.5）で前月比103%、性器ヘルペスウイルス感染症679人（0.7）で前月比103%、尖圭コンジローマ478人（0.49）で前月比104%、淋菌感染症933人（0.96）で前月比93%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は28人（4.0）で前月比78%と減少した。また昨年10月（8.3）の約半数であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人（2.9）で、前月の約7割、前年の約6割であった。日向（5.0）、延岡・高鍋（各4.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数8人（1.1）で、前月の約1.1倍、前年の約3割であった。宮崎市（6.0）保健所からの報告が多く、全て1歳から9歳の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：466

定点医療機関からの報告総数は2,304人（5.0）で、前月比102%であった。疾患別報告数はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,876人（4.0）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症387人（0.83）で前月比136%、薬剤耐性緑膿菌感染症41人（0.09）で前月比75%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第45週(11月08日～11月14日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	11	31		1	4	1		4		21	
	定点あたり	0.19	0.53	0.00	0.10	0.57	0.20	0.00	0.67	0.00	3.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	114	94	13	13	25	2		11		28	2
	定点あたり	3.17	2.61	1.30	2.17	6.25	0.67	0.00	2.75	0.00	7.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	8	18	4	6	2	5	1				
	定点あたり	0.22	0.50	0.40	1.00	0.50	1.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	43	55	16		12	7	1	7	2	9	1
	定点あたり	1.19	1.53	1.60	0.00	3.00	2.33	0.33	1.75	2.00	2.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	260	286	49	35	16	32	55	40	9	36	14
	定点あたり	7.22	7.94	4.90	5.83	4.00	10.67	18.33	10.00	9.00	9.00	14.00
水痘	報告数	49	57	22	6	7	2	1	17		1	1
	定点あたり	1.36	1.58	2.20	1.00	1.75	0.67	0.33	4.25	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	40	17	3	7		3		1		3	
	定点あたり	1.11	0.47	0.30	1.17	0.00	1.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	13	2	7			3				1
	定点あたり	0.14	0.36	0.20	1.17	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	38	44	13	9	9	1	1	5		3	3
	定点あたり	1.06	1.22	1.30	1.50	2.25	0.33	0.33	1.25	0.00	0.75	3.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	1	2							
	定点あたり	0.06	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	89	104	13	5	37	20	3	3	4	16	3
	定点あたり	2.47	2.89	1.30	0.83	9.25	6.67	1.00	0.75	4.00	4.00	3.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	16	16								
	定点あたり	2.83	2.67	5.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第45週)

2類感染症	結核	182例(3)			
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	51例(1)	
	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病
4類感染症	デング熱	1例	日本紅斑熱	5例	マラリア
	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例	
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	8例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒
	破傷風	5例	麻しん	1例	

()内は今週届出分、再掲